

『よどふあるの友』は、淀協・ファルマHPH委員会と西淀川・淀川健康友の会が共に取り組むHPH活動について、様々な情報を発信したり、活動を報告するニュースです。名前は、淀協、ファルマプラン、健康友の会の名前と健康友の会の発行する『健康の友』にあやかりました。

第30回国際カンファレンス2024ポスト企画に参加して

2月1日（土）14時～18時に、第30回国際カンファレンス2024ポスト企画が順天堂大学（東京）で開催されました。淀協からは結城、野口、大島医師とまちけん部4人（前田、竹内、新、伊東）が参加しました。



パネルディスカッションでは、結城先生が「西淀病院・淀協の現在とこれからのHPH」。大島先生が民医連近畿地協の立場から「国際カンファレンスの振り返りと今後のJ-HPHへの期待」と題して発言。J-HPHコーディネーターの舟越先生からは「J-HPHの10年の歩み」について、千葉大学の近藤克則先生からは「戦後80年のヘルスプロモーションと2040年に向けた課題」についてお話をされました。

最後に、特別講演として京都大学の近藤尚己先生から「多様な担い手との連携で推進するHPH活動：その方法と社会的インパクト」と題して、講演されました。

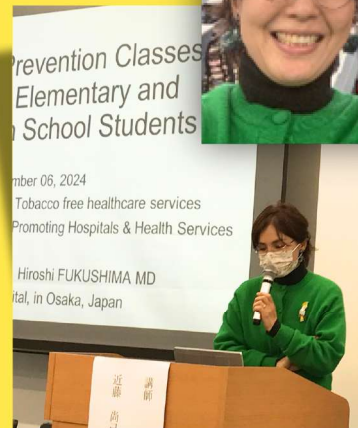
「エビデンスの確立」と「アカデミアとの協力」

これらの話を聞いて、これから、私たちがめざしていく方向性として、次の2つの視点が大切だと感じました。

- ①医療機関だけの取り組みではなく地域のさまざまな団体や企業との協力も視野に入れた活動をすすめていくこと。
- ②大学や研究機関と協力して、実地のデータを分析研究し発表することで、社会のシステムをかえていくことができる働きかけ。

討論のなかで、「エビデンスの確立」と「アカデミアとの協力」と発言された方もおられました。この2つの視点を持ち続け、HPH活動をさらに広げていけたらと感じました。

（まちづくり健康増進部 前田）



2/27(木)午後2時～

オンライン運動教室 毎月第四木曜日開催



「何のための、誰のための、誰と一緒に、 誰が参加する活動にするか！」

にしよど健康No.1プロジェクトを開催！

にしよど健康No.1プロジェクトの一環として「がんを知る」をテーマにした講演会&健康体験イベントが2月3日に開催されました。

講演会では、がんサバイバーの方や千船病院の医師がそれぞれ登壇されました。

参加者の方に気軽にがんや検診について知っていただいたり、ご自身の健康をチェックしていただいたりするため、健康チェック体験ブースを設置。



HPH委員、西淀病院、のぞと診療所、千北診療所の職員で、禁煙についてのブースを担当しました！

COチェッカーや、けむいもん模試を紹介して、タバコの害や受動喫煙について啓蒙活動を行いました！



たくさんの地域の人たちが来てくださり、子どもや夫の喫煙で悩んでいるなど、相談に乗る事が出来ました！地域丸ごと健康に！大事な機会をありがとうございました！



平和への願いを風船に託す

毎年1月22日に行っている風船メッセージ行動（*風船行動とは、思い思いの平和を願う気持ちを書いた短冊をヘリウムガス入りの風船につけて飛ばす行動です）を今年も午後1時30分から午後2時の30分間、歌島北之町公園（歌島3-7）にて、行いました。

毎月22日はスワンスワンの日

13:00~13:15

土日・祝日の場合は、次の平日に実施します。

※参加人数と拾った吸い殻の数を
ファックスにてお知らせください！

発行：〒555-0024
大阪市西淀川区野里3-5-22
淀協・ファルマHPH委員会
TEL (06)6471-0496(代表)

日本HPHネットワーク
Japan Network of Health Promoting
Hospitals & Health Services



HPH2024年度アンケート